

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について

—平成28年度は計712件の暴力行為が発生（全国34社局）—

一般社団法人 日本民営鉄道協会	名古屋市交通局
北海道旅客鉄道株式会社	大阪市交通局
東日本旅客鉄道株式会社	福岡市交通局
東海旅客鉄道株式会社	東京モノレール株式会社
西日本旅客鉄道株式会社	株式会社ゆりかもめ
四国旅客鉄道株式会社	首都圏新都市鉄道株式会社
九州旅客鉄道株式会社	北総鉄道株式会社
札幌市交通局	株式会社横浜シーサイドライン
東京都交通局	愛知環状鉄道株式会社
横浜市交通局	

日本民営鉄道協会（大手16社）、ＪＲ北海道、ＪＲ東日本、ＪＲ東海、ＪＲ西日本、ＪＲ四国、ＪＲ九州、札幌市交通局、東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、大阪市交通局、福岡市交通局、東京モノレール、ゆりかもめ、首都圏新都市鉄道、北総鉄道、横浜シーサイドライン、愛知環状鉄道では、平成28年度（平成28年4月～29年3月）に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数の集計を行いました。

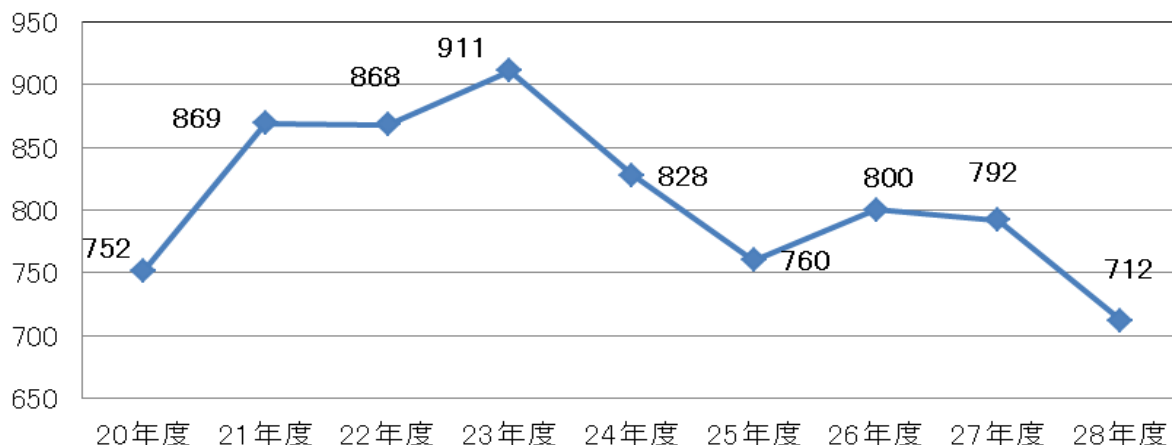
平成28年度の発生件数は34社局で712件（前年度は33社局で792件）となり、昨年度に比べ80件減少しました。（下表参照）

この要因については、全国の鉄道事業者による啓発ポスターの掲出、警察官の巡回や警備員の配置、駅係員の研修等の取り組み、また監視カメラの駅構内・車内への設置などが抑止に大きく寄与したものと考えられます。

しかし、発生件数は、平成26年度より連続して減少傾向を示しているものの、平成28年度も700件を超えており、依然として高い水準にあります。また、暴力行為の加害者の62％（712件中440件）が酒気を帯びており、月別では8月・12月、曜日別では木・金・日、時間帯別では深夜の発生件数が多いことから、暴力行為と飲酒に相関関係が見られます。加害者の年齢に偏りはなく、幅広い年代に分布しております。

引き続き、暴力行為は絶対に許されないこと、暴力行為に対して鉄道業界全体が結束して、毅然とした態度で対応することを強く訴えてまいります。主な集計・分析結果については、別紙の通りです。

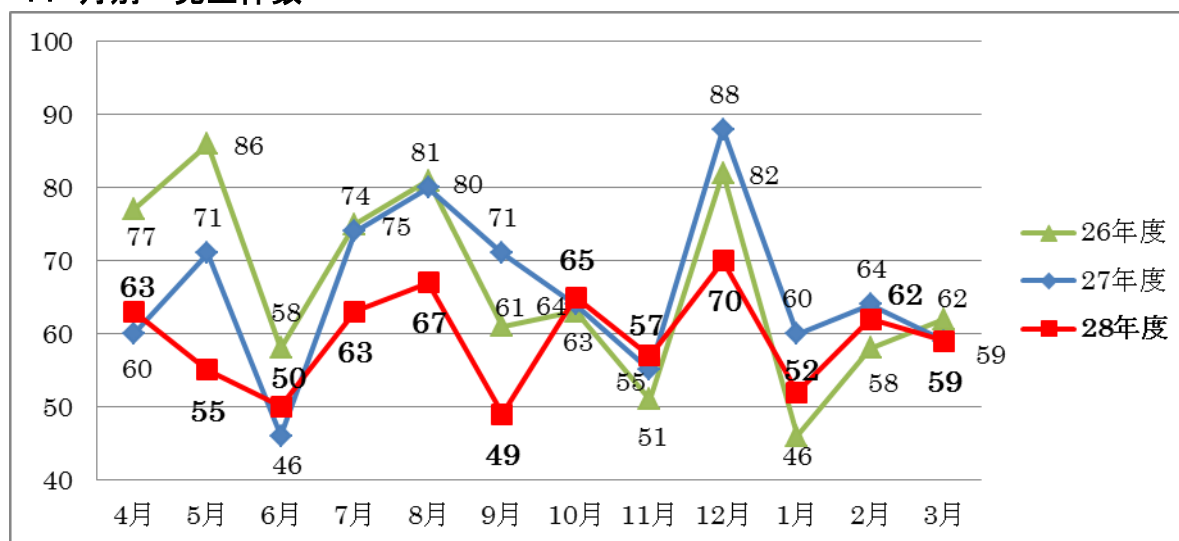
年度別 発生件数



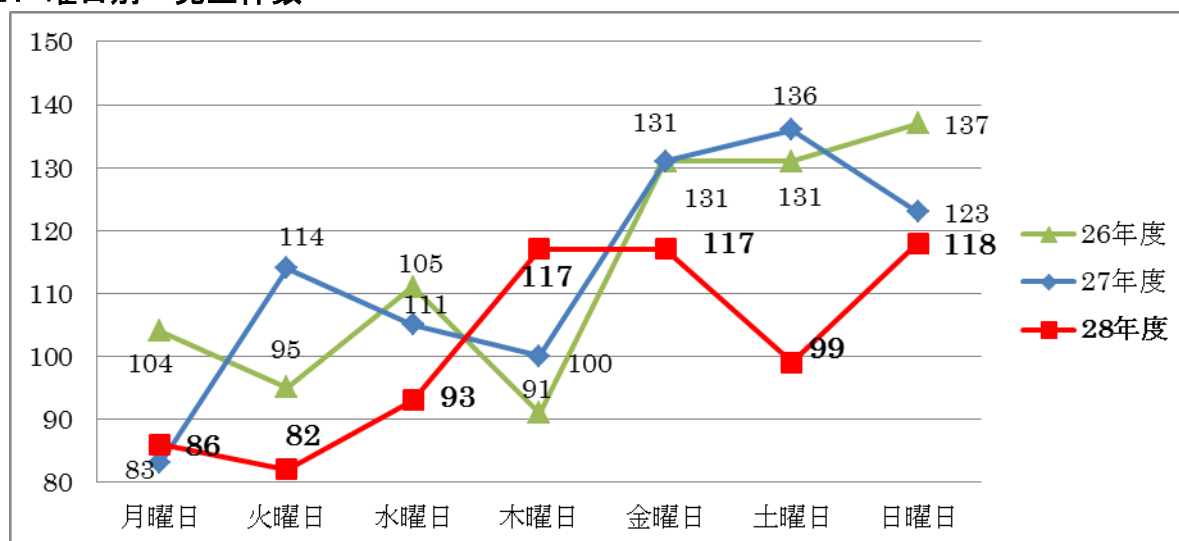
I. 鉄道係員に対する暴力行為の発生状況

暴力行為の発生状況については以下のとおりです。

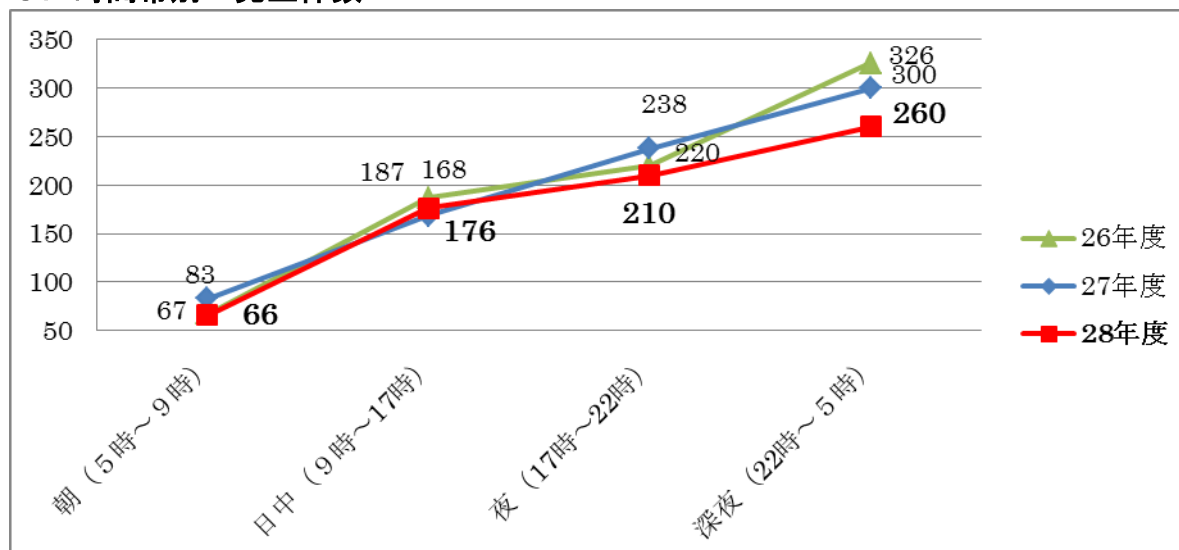
1. 月別 発生件数



2. 曜日別 発生件数



3. 時間帯別 発生件数

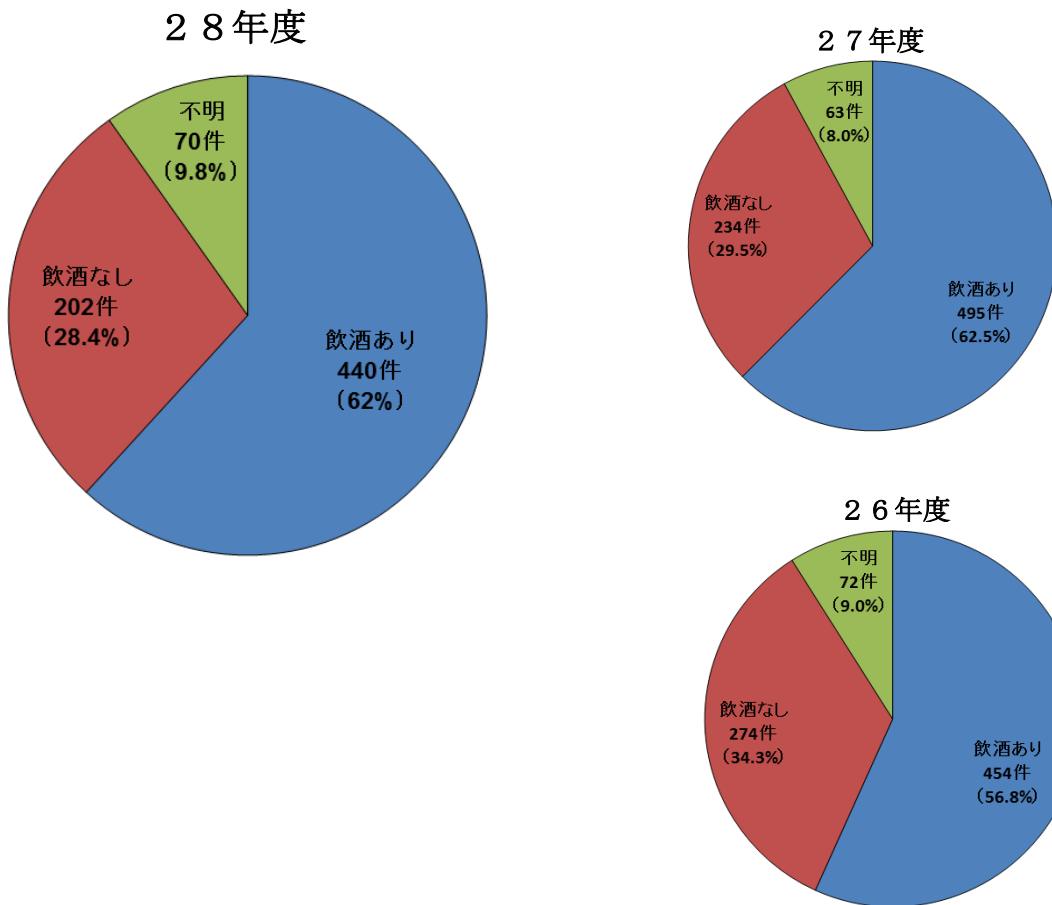


※27年度における、発生時間帯不明の3件は含まず。

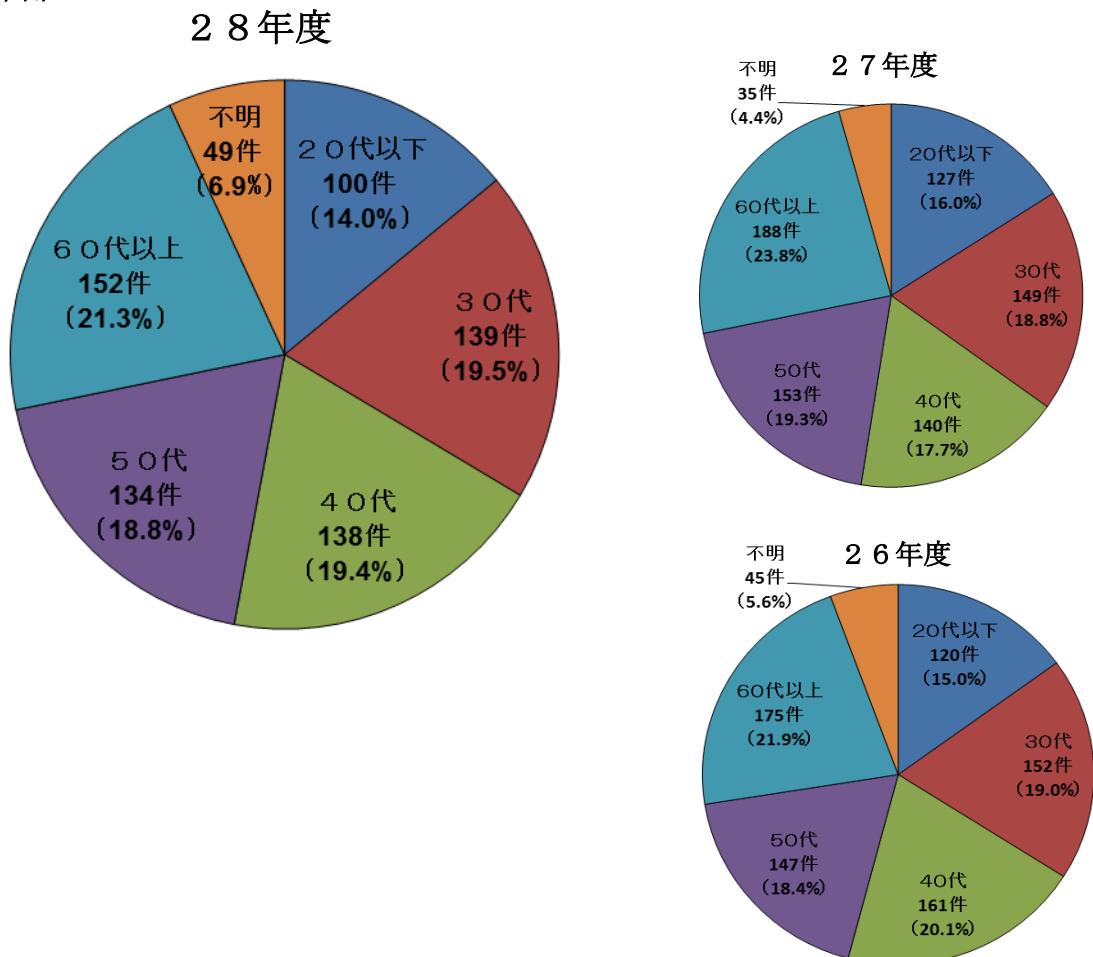
Ⅱ．鉄道係員に対する暴力行為の分析

暴力行為の発生傾向については以下のとおりです。

1．加害者の飲酒の有無

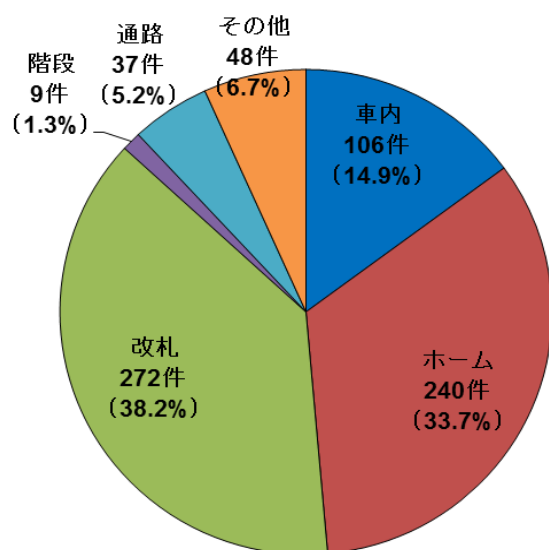


2．加害者年齢

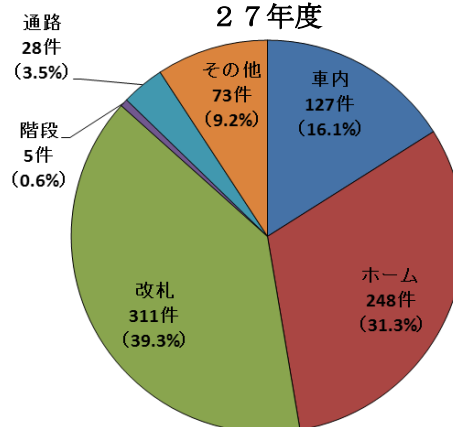


3. 発生場所

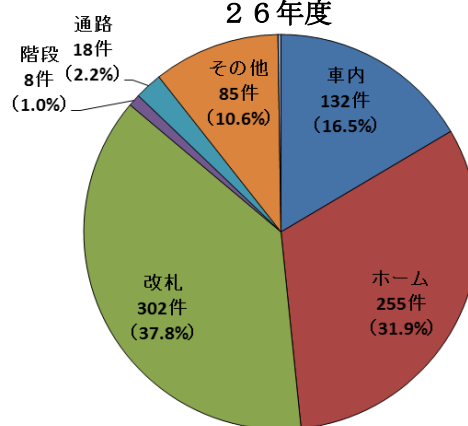
28年度



27年度



26年度



以 上

＊本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています＊

- | | | | |
|------------|-------------|----------------|----------|
| ○国土交通記者会 | ○ときわクラブ | ○丸の内記者クラブ | ○ＪＲ記者クラブ |
| ○東海交通研究会 | ○青灯クラブ | ○近畿電鉄記者クラブ | ○都庁記者クラブ |
| ○大阪市政記者クラブ | ○名古屋市政記者クラブ | ○北海道運輸・航空記者クラブ | |
| ○四国交通記者クラブ | ○九州ＪＲ記者クラブ | ○福岡経済記者クラブ | |

など